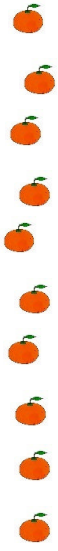


たかが親子 されど親子

「バカの壁」というタイトルに興味を持ち、著書を買って求めたのが丁度十年前の事です。そこに書かれていた事を全て理解したわけではない共感したわけでもありませんが、タイトルの意味する事が「思いこみや偏見」を指している事には「なるほど・・・」と、うなづけました。思い込みや偏見は、確かに考えることをせずに心を閉ざしてしましますから、人に対しても頑なになってしまいます。その発展形が競争やテロであったり、国レベルでは経済の停滞をも引き起こす元になるのです。そして、そこまでは行かなくても、自分の世界に入り込みすぎ、世間と折り合う事が難しい老若男女が増えている実態に、「バカの壁」の先に潜む「自分の壁」なるものがあるという事を続編「自分の壁」で著者の養老猛司氏は語っています。科学者の専門的な見解はともかく、「思いこみや偏見」は、少なからず親の価値観をもろに受け取っているもの、それが子どもだからです。

皆さん、こんにちは。ついこの間、四月のスタートを切ったと思っておりましたら、もう十二月になってしまいました。子供たちにもそれぞれの表情、行動に大きな成長の跡が見られ、保護者としてもとてもうれしく思います。特に三年生は、年明けにいよいよ高校受験も控え、初めて清川村の外に自分の居場所を掴むためのチャレンジが始まります。私は常に「自分の人生を決めるのは自分ではない。他人である。」ということ念頭においています。「自分で未来を切り拓く」という言葉は力強い輝きを感じますが、どんなに優れた才能も、日々蓄積してきてきた努力も他人や社会に評価してもらえなければ、自分の中に



自分の人生を決めるのは



清川村立緑中学校	
生徒数	68名
家庭数	61戸
職員数	26名

PTA会長 工藤 道尚



ずっと埋もれたままです。三年生の子供たちは初めて大きな競争の中で、自らを他人に評価してもらおう場に赴きます。ぜひ、自身が望む評価をしてもらえよう、残された日々努力を積み重ねて欲しいと思います。

一方、これは大人も一緒だと思います。自分を正当化し、周囲の文句ばかり言っている人は、他人に自分を評価してもらえないような努力を怠り、社会に出てからも進歩がほとんど無いように感じます。

この年の瀬、私達も今一度、自分自身を振り返り、再成長の年として新年を迎えませんか？

校長 市川 美紀子



私が小学生だったころ、学校の先生から、それも多くの先生方から「伝記を読みなさい。いろいろな人の生き方から学びなさい」と、事あるごとに言われまして。今、思うに、「あなたたちは、親から沢山の影響を受けて育っているのだよ。仕事や話し方、ちよっとした癖まで似てるでしょ。いい事はもちろん、悪いこともだ。だからね・・・」と、伝えられたのかもしれない。

当たり前と同じ部屋の空気を吸い、同じものを食し、生活している親子ですが、家から一歩外に出ればそこは別の社会です。人と折り合う場です。押しつづかれそうになっても潰れない、自分に対する本当の自信（自己肯定感）とは、人に勝つ事ではなく自分と折り合いをつけるものだという事を日々の生活の中で体験させたいですね。

親子ふれあい行事

平成26年8月23日(土)、親子ふれあい行事の校庭整備が開催されました。幸いにも曇りでしたので、除草作業はしやすく順調に進みました。暑さにも関わらず、作業終了時の疲労感は心地よいものでした。作業終了後には冷たいアイスをいただきました。

その後、体育館にて清川村消防団本部による消防通報システムについての説明など、大切なお話を聞くことができました。そして、いくつかの訓練の中で、礼式訓練(右向け右や回れ右など)を教えていただき、全員で体験しました。生徒たちはとても飲み込みが早く、上手にできていました。

続いて校庭に移動すると、消防団第1分団の方々による、消防操法演技を見せていただきました。消防団の方々のお力の入った掛け声や、きびきびとした動きに見入る生徒の真剣なまなざしがとても印象的でした。



1年生



2年生



3年生



真剣に話を聞く生徒たち



操法の演技に注目する生徒たち

サマーフェスティバルin清川ホーム

7月27日(日)に行われた清川ホームのサマーフェスティバルに緑中の生徒54名がボランティアとして参加しました。当日は清川ホームに到着直後に激しい雨に見舞われ、開催が危ぶまれましたが、開始の時刻が近づくと雨が上がり、無事、開催されました。緑中生は清川ホームの利用者の皆さんに食事を運んだり、模擬店の販売を行ったりと張り切って活動していました。たこ焼きやそば、フランクフルト、綿アメなどの屋台の販売では慣れるに従って次第に応答の声も大きくなり、素敵なスマイルがたくさん見られました。



生徒会長のあいさつ



模擬店のお手伝い



飲み物サービス



文化発表会



『絆 ～みんなの想いを奏でよう～』

平成26年10月18日(土)、文化発表会が開催されました。ステージ発表では、心に響いた合唱をはじめ、生徒たちの頑張る姿に感動しました。練習を重ねていく中で、絆の深まりや、大切なものを得る事ができたのではないかと思います。また、展示発表もひとり一人の努力が感じられて、生徒たちの日頃の学習の成果が見られました。

最初から最後まで、生徒たちのいろいろな想いが伝わり、心に残るすばらしい発表会でした。

また、PTAによる「未来へ」の合唱は、工藤会長の軽やかな指揮で、みんなの心が一つになり、とても素敵な合唱でした。



全校「時を越えて」



3年生「キミのもとへ・・・」



2年生「翼を広げて」



1年生「カリブ夢の旅」



PTA「未来へ」



展示発表を見学する皆さん

☆みどりホール (総合学習展示会場)

3年・修学旅行から学んだこと
○班ごとにテーマがあり、たくさん写真を使った展示は、学んだことや楽しさが伝わってきて見応えがあり、とてもよくできていました。

2年・職場体験学習
○さまざまな職場での貴重な体験に、成長を感じました。そして、この体験を通して学んだ事がとても

1年・職業学習
○職業について、ひとり一人が生懸命調べてあり、感心しました。そして、内容を工夫してまとめた新聞は、とてもすばしかったです。

ふれあい講習会



参加者の方々に感想をいただきました。

平成26年11月17日(月)、ふれあい委員会による「パン作り」が、やまびこ館2Fの調理室にて行われました。

台風の影響により、延期しての実施となりましたが、当日は13名の方が参加され、講師の城所照彦さん(手作りパン「HEAVEN」)に、ピザ、かぼちゃあんぱん、惣菜パンの3種類を教えていただきました。

生地をこねる作業は大変でしたが、とても分かりやすく、ていねいに教えていただき、和気あいあいの中でとても楽しいパン作りができました。そして、自分の作ったパンのおいしさに思わず笑みがこぼれ、大満足の体験となりました。

- ・パン作りはとても楽しかったです。
- ・上手にできたのでよかったです。
- ・このような機会をいただき、初めてのパン作りができて、楽しかったです。
- ・パンがとにかくおいしかったです。
- ・生地の柔らかさが分からず、難しかったけれど、家でも作りたいです。
- ・材料等が揃っていたので、スムーズにできてよかったです。



講師の城所さんと参加者の皆さん



編集後記

第2号では、PTA活動について特集しました。編集にあたり皆様には写真撮影などたくさんのご協力をいただき、ありがとうございます。文化発表会では子供たちの頑張る姿に感動しました。これまでの努力の積み重ねが自信へとつながってほしいと思います。広報委員として、様々な活動の取材を通して良い経験をさせていただきました。皆様に感謝申し上げます。

